

厚い壁に涙涙涙

フルーレ 2位 サイブル 優勝 エへ 3位

春日19勝18勝

フルーレ 18勝 サイブル

〔総評〕昨年は慶大。今年も目の前の壁を破れず、一部復帰の足掛かりをつかめません。フルーレは出足快調。明日、青学を全て二ケタの勝ち星で撃破。牽引車春日が三試合とも4勝でリーグイとリード。二番手遠藤も期待に添えて堅実に勝ち星を重ね、明代、川端がよくついていくという理想的な試合展開を続けたのです。ところが今季リーグ戦最大のヤマというべき四戦目、対国士館で足並みが乱れてしまったのです。春日4勝、

遠藤2勝。二人合わせて6勝は計算通りだったので、明代、川端が共に全敗、すっかり委縮し、腕がらじこまり、ふだんの力の半分も出せないままズルズルと黒星を重ねてしまったのです。大事な場面で真価を発揮できるかどうかで、その人間の評価が決まるといわれます。事実、過去に何回も同じケースで苦い思いをしてきているので、その点の指導も私なりにずいぶん徹底してきたつもりですが、やはり及びびませんでした。指導力のいたらないを痛感しております。

サイブルは優勝とあってよいでしょう。春日、内田の二枚駒がそろい、三番手川端が奮起して期待以上の働き。いずれの試合も、一巡目からリードしたかと思うと中盤でひっくり返されたりして、一喜一憂。エへ陣をキチンと確立して、五種類の練習を積み、近代五種の練習に合流、他流試合もずいぶんやってきたのですが、いざフタを開けてみるとぜんぜん足並みがそろわない。エース遠藤

つたら白井を出すという形をとってみました。エへは苦戦の連続でした。緒戦の明大戦では3勝7敗1分けと、もう一つも負けられない大ピンチに立たされていきます。さいわいその後5連勝してどうやら逆転勝ちしたもの、そのスタートから大ヒヤ汗。その後、緒戦リードしたかと思うと中盤でひっくり返されたりして、一喜一憂。エへ陣をキチンと確立して、五種類の練習を積み、近代五種の練習に合流、他流試合もずいぶんやってきたのですが、いざフタを開けてみるとぜんぜん足並みがそろわない。エース遠藤

は、昨年に比べると、二番手横須賀、三番手明代が振るいませんでした。これまでに比べ、今季は三種目ともに駒はそろっているはず。それを生かすことにはなかつたのは全て私の指導力不足と深く反省しております。(監督・川名宏美)

慶応一部に残留

関東大学リーグ戦一、二部入替戦は六月九日、都立夢の島体育館で、一部最下位慶大と二部優勝国士館大の間で行われ、慶大が二勝一敗と勝ち、一部残留を決めた。

△フルーレ
○慶大 9-1 国士大
○サイブル
○慶大 6-1 国士大
▽エへ
○慶大 8-1 国士大
○サイブル
○慶大 6-1 国士大

春のオープン戦

△▽国学院戦 (3月29日) フルーレ
○早 大 8-1 国学院大
サイブル
○早 大 8-1 国学院大
エへ
○早 大 8-1 国学院大
▽拓大戦 (4月5日) フルーレ
○早 大 9-3 拓大
サイブル
○早 大 5-1 拓大
エへ
○早 大 1-8 拓大
▽法大戦 (4月12日) フルーレ
○早 大 3-1 法大
サイブル
○早 大 6-1 法大
エへ
○早 大 3-1 法大
▽中大戦 (4月19日) フルーレ
○早 大 7-1 中大
サイブル
○早 大 7-1 中大
エへ
○早 大 3-1 中大

サイブル段違いの強さ

リーグ戦成績

フルーレ (二位)
○早大 12-4 明大 ●
○早大 10-1 6 日体大 ●
○早大 12-1 4 青学大 ●
○早大 6-1 10 国士大 ○
○早大 10-1 6 立大 ●
〔順位〕①国士大 5勝②早大 4勝③明大 3勝④立大 2勝⑤日体大 1勝⑥青学大 5敗

サイブル (一位)
○早大 10-1 6 明大 ●
○早大 13-1 3 日体大 ●
○早大 10-1 6 立大 ●
○早大 12-1 4 青学大 ●
○早大 10-1 6 国士大 ●
〔順位〕①早大 5勝②国士大 3勝③立大 3勝④明大 3勝⑤日体大 4敗⑥青学大 5敗

エへ (三位)
○早大 8-1 7 明大 ● (1引き分け)
○早大 6-1 7 日体大 ○ (3引き分け)
○早大 6-1 5 青学大 ● (5引き分け)
○早大 5-1 8 国士大 ○

個人成績 春日19勝1敗、遠藤12勝8敗、川端10勝10敗、明代9勝11敗

個人成績 春日18勝2敗、内田14勝6敗、川端14勝6敗、白井5勝7敗、明代5勝4敗、エへ (三位)
○早大 8-1 7 明大 ● (1引き分け)
○早大 6-1 7 日体大 ○ (3引き分け)
○早大 6-1 5 青学大 ● (5引き分け)
○早大 5-1 8 国士大 ○

和やかに謝恩パーティ

滝口先生、長い間お疲れ様でした——三月十一日夜、大隈庭園内宛之荘で、稲光会主催による「滝口宏先生謝恩会」が開かれました。当会と滝口先生の関係は昭和二十一年、わが部創設にあたって部長をつとめていただいた以来の長年にわたるもの。定年を迎えられたのを機にその間のご尽力に對しあらためて感謝し、記念品を受けとっていただきました。なお平俊文部長も健康上の理由で辞任、後任に教育学部教授戸谷(とや)高明先生をお迎えしました。

40人が送別の盃

われわれにとつて、部長として、そして体育局長として、常に精神的な支えであつた滝口先生。ついに定年を迎える日がきてしまいました。もちろん、稲光会の名誉会長として今後も当会とのつながりは従来通り保つていくわけですが、これまで多岐にわたるご尽力に感謝する意味で送別の宴を設けたのです。滝口先生は公私の別別に人一倍厳しい方で、大学当局や体育局関係者には「定年」というプライベーターとなつて」と、送別パーティの類いは一切お断りいただき、そうして、しかし、フェンスシングとの縁は、そ

ういった公的なものとは違つて、楽しんでいただきたいと思います。完之荘は、このところ総会ははじめ当会の会合にこの日の出席者がありますが、この日の出席者にはさすがに多彩。金子会長、中村副会長はじめ名古屋からはるる齋藤、森岡会員が駆けつけ、さらに佐藤(武)、越、堀会員、そして中堅から若手の会員までざつと四十人。完之荘の会合では当会として最高の出席者を数えました。これも滝口先生の二人徳でしょう。

金子会長の謝辞あいさつ、中村副会長から記念品の贈呈、そして滝口先生のお言葉と、会には和気あいあいのうちに、たのしく進行。滝口先生が「定年」といっても、



多数の会員の前にてあいさつされる滝口先生(左上) 稲光会から記念品が送られる(下)

滝口先生の思い出

昭和十八年、憧れの学園に入り、すぐ剣道部に入部しました。その年の秋に十國杯のハイクイックに行き、東海道縁の中で滝口先生に逢いました。「先生!!」と声をかけると、

熱心に全試合に観戦

先生はあつた元氣な口調で、「よし今日は静岡の登呂遺跡からの帰りに、なんでもおつきあひなさい」とおっしゃつたことが今でも頭の

記念募金実施

稲光会では、昭和百周年の節目に、専用道場落成(今年11月の予定)を記念として、今年11月の予定に、稲光会が行つた一百万円を、また、稲光会が持つ各専攻会、同会に寄付し、スポーツ施設の充実に役立てたいと思つて、募金を実施しようと思つて、実施することを決定いたしました。この募金を、今後、稲光会が持つ専用道場落成記念式典の費用に当てることにさせていただきます。

稲光会では、昭和百周年の節目に、専用道場落成(今年11月の予定)を記念として、今年11月の予定に、稲光会が行つた一百万円を、また、稲光会が持つ各専攻会、同会に寄付し、スポーツ施設の充実に役立てたいと思つて、募金を実施しようと思つて、実施することを決定いたしました。この募金を、今後、稲光会が持つ専用道場落成記念式典の費用に当てることにさせていただきます。

実行委員会メンバー
▽委員長 金子誠(会長) △副委員長 中村英太郎(副会長) △委員 佐藤武、北原輝久、佐藤武、新井時男、柳井清、西沢民夫、橋本純樹、吉田友久、成田豊士、安藤孝男、藤原隆、坂本雅夫、平野健一、宮崎達

雑報

前年に引き続き 金子会長ら留任

五五年度稲光会総会は、三月十一日大隈庭園宛之荘で、滝口先生の謝恩会に先立って行われました。前年に引き続き、金子会長以下中村副会長、金幹事が留任。吉田会計幹事からこの一年間の収支決算書の報告があり、了承を得ました。

評などを数多く聞いた思い出があります。その後、三十七年に千葉の加賀利貝家の発掘地でも先生をお訪ねしたことがありますが、そんなついでに先日、今度も先生の御馳勝を稲光会一同祈念いたします。

熱心に全試合に観戦

先生はあつた元氣な口調で、「よし今日は静岡の登呂遺跡からの帰りに、なんでもおつきあひなさい」とおっしゃつたことが今でも頭の隅に残つてます。戦後混乱の学園で小森、吉田両先輩、原、中村等の誘いを受けフェンスシングへ

稲光会報

昭和56年 7月10日発行
編集者 早稲田大学稲光会
発行者 北原輝久
題字 滝口 久宏 創
印刷 進 久宏 創
第4巻第6号

◇2面 平先生から戸谷先生に部長バトンタッチ
◇3面 京の町に「都の西北」対立命定期戦30回
◇4面 惜しくも二部優勝を逃す

ページの窓

お疲れ様、滝口先生



われわれにとつて、部長として、そして体育局長として、常に精神的な支えであつた滝口先生。ついに定年を迎える日がきてしまいました。もちろん、稲光会の名誉会長として今後も当会とのつながりは従来通り保つていくわけですが、これまで多岐にわたるご尽力に感謝する意味で送別の宴を設けたのです。滝口先生は公私の別別に人一倍厳しい方で、大学当局や体育局関係者には「定年」というプライベーターとなつて」と、送別パーティの類いは一切お断りいただき、そうして、しかし、フェンスシングとの縁は、そ

平部長 突然の辞任

健康上の理由で、後任に戸谷教授

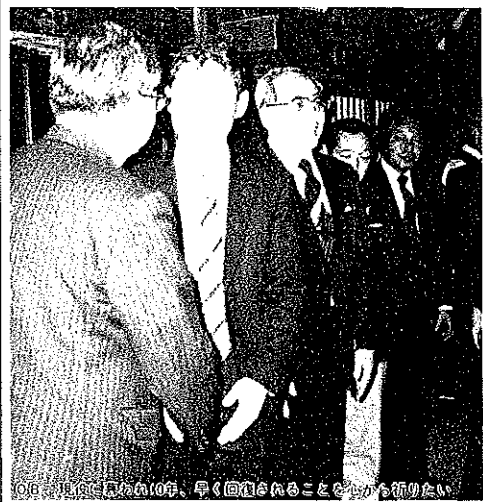
平俊文部長が辞任されました。健康上の理由で、これ以上激務に耐えられないとのことです。四十六年以來、ちょうど十年間、部長を務められ、部員たちに慕われた平先生だけに惜別の情がひとしおです。後任には同じ教育学部教授で理事の戸谷高明先生をお迎えしました。稲光会では四月六日、完之荘に新旧両部長を迎え歓迎会を開催。席上、平先生には当会の名譽会員になっていただくことを満場一致で決定。以後、滝口先生と同様に当会の各種催しに出席していただくことになりました。

OB、部員に慕われ……

平部長の辞任——これは突然伝えられたニュースでした。一面掲載の滝口先生謝恩会の席上、滝口先生の口から「このたび平君が部長を辞めることになり……」と説明があり、事前に何のアナウンスも耳にしていなかった出席者一同ビックリノといういきさつがあったのでした。

平先生といえば熱血漢、情熱の人として、OB、現役の絶大な支持を得てきた人です。フエニングを理解するには実際にやってみる……と、慶応

の内池部長に挑戦状を突きつけ、道場に通ってエベの練習を何回かやったものでした。この話は、内池先生が体の具合が悪くなったことで立ち消えになってしまいました。が、もし実現していたら早慶定期戦史上空前の快挙として長く歴史に残ったことでしょう。



行動力がありにも多岐にわたる。長年にわたって激務に耐えてきたことが健康を害する基になったようです。一日も早く元の健康体に戻れることを願ってやみません。長い間ありがとうございました。後任の戸谷先生、滝口先生に比べると平君と比べると静と動、まるで正反対のタイプだそうで、確かに、お会いした印象はもの静かな学究肌。そして冷静沈着な実務家という感じを受けます。「突然の話なので、まだ

心の準備すら出来ていない状態です」とおっしゃりながら、折からのリーグ戦で

は、多忙なスケジュールをやりくりして会場まで駆けつけ、現役の試合ぶりを熱心に応援されたこともあるほど。誠実さを内に秘めた温厚篤実の士、という印象も受けています。

文学部国文科卒業 教育学部で教へん

プロフィール

◆生れ 昭和四年九月十七日生まれ、五十一歳。長野県上水内(かみみのち)郡出身。
◆経歴 二十六年、早大文学部国文科を卒業。大学院を経て、教育学部の専任講師。助教授。教授のコースを歩む。その間、平先生の後任として早大の教頭を務めている。現在教育学部

部長十年間の想い出 平 俊文

四十六年、滝口前部長の跡を継いで部長職につき、ちょうど十年。長かったように思うし、またあつたという間に過ぎさつた。

に言いたいことを言ってきました。OBの方々の協力には心から感謝しております。なんと強い部になります。なんと指導に心砕いているOBの方の姿に

命を負っているようです。まだ日が浅く、先輩方はもちろん、部員諸君とも十分に接触していかないというのが実情です。しかし選手たちは一生懸命にやっています。部長を引き受けた以上、よりよい部づくりのためにOB諸氏のご協力に出来る限り協力したいと思います。どうぞよろしくお願ひ致します。

立命館 定期戦

OB、現役共に圧勝!

遠征記

成瀬正澄(32年度) 早大—立命館定期戦は迎えて三十回目。それを記念して「OB戦をやりたい」と、当番校である立命大OB会幹事から申し入れがあった。そこで行って来まして、京の都へ——。

三月二十一日、東京駅に集結した顔ぶれはと見ると、東京勢の総大将佐藤武先輩を筆頭に小生、北原幹事長、北島君、森居君。そうそう、京都出身(立命館高校出)で東京勤務の「マツ」こと高松君もいた。名古屋から団長として齊藤先輩が合流。意気揚々と乗り込んだのです。こんなことは稲光会始まって以来の快挙でしょう。同行の現

役諸君のなんと幼いこと。どう見ても親子連れの修学旅行風景でした。その夜は立命大OB諸氏の丁寧なお迎えを受けて懇親会。かつてのライバルたちと昔話に花を咲かせ、飲みかつ食い、果てはカラオケにと大ワイバー。立命大小林幸男部長先生の案内で祇園の酒場にまで繰り出す楽しい前夜祭となったのです。翌二十二日、地元紙京都

新聞を見てビックリ。定期戦三十周年の記事がコラムの隅に、齊藤、佐藤両先輩の名前まで出ているではありませんか。これで張り切らなまや男じゃやない。一同の意気大いに上がり、何年ぶり、十何年ぶりの対戦を圧勝。フエニングをやっていたよかつたこと、つくづく思ったことでした。

◆転載 水戸純会員50年度は大家製菓を退職。山口県下松市の公衆小学校の教員になりました。現在三年一組を担任。四十四人のチビッ子相手に汗だくの毎日だそうです。連絡先は〒744 下松市花園昭和町一六八五—二 大蔵アパート(四六号TEL)0833-2817

短針

◆転載 元幹事だった黒田九州会員(38年度)は四月一日付で新日鉄東北営業所に移動。連絡先は〒982 仙台市長町三丁目九六一—〇五号。コトボリ TEL(022)43324 ◆転載 水戸純会員50年度は大家製菓を退職。山口県下松市の公衆小学校の教員になりました。現在三年一組を担任。四十四人のチビッ子相手に汗だくの毎日だそうです。連絡先は〒744 下松市花園昭和町一六八五—二 大蔵アパート(四六号TEL)0833-2817

京の町に「都の西北」

ホヤホヤ会員



成瀬先輩 佐藤先輩 齊藤先輩

五十五年度は四人の卒業生がいました。当会にとっては新会員誕生というわけですね。どうぞよろしく。
◆武市 聖(たけいち・まこと) 主将。北海道立小樽湖陵高校出身。教育学部。就職先は北海道放送。故郷の札幌に帰る時、報道記者として活躍するかわら、フエニングも続けて団体出場を拒否そうです。
◆原田 充(はらだ・みつる) 副将。早大学院出身。理工学部。ソニー本社に勤務。エリート。

成績 立命大定期成績
OB戦 〇大東5—4立命大OB
VAサークル
ワフルレ 〇北陽(45年)3—5村上(45年)〇
〇太田(45年)5—3不破(49年)〇

◆現役戦
〇早大 7—3 立命大
〇早大 10—6 立命大
〇北陽(49年)0—5後援(?)
〇森居(46年)1—5松岡(31年)〇

《30周年祝い》 齊藤・佐藤(武) 先輩らが参加

外試合に若き日の血を燃えたぎらせたのです。小生も不覚ながらアガリ気味。平常心を失った試合はむかしだったので、そこはむかしとつたさねづか。何とか恥をかかず済みました。同行諸氏も大いに奮戦、OB戦を圧勝。フエニングをやっていたよかつたこと、つくづく思ったことでした。

◆転載 元幹事だった黒田九州会員(38年度)は四月一日付で新日鉄東北営業所に移動。連絡先は〒982 仙台市長町三丁目九六一—〇五号。コトボリ TEL(022)43324 ◆転載 水戸純会員50年度は大家製菓を退職。山口県下松市の公衆小学校の教員になりました。現在三年一組を担任。四十四人のチビッ子相手に汗だくの毎日だそうです。連絡先は〒744 下松市花園昭和町一六八五—二 大蔵アパート(四六号TEL)0833-2817